

平成 27 年 4 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 CEO 藤原 正明
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 清田 圭一
(TEL. 03-6383-3746)

子会社の韓国特許付与決定についてのお知らせ

このたび、当社の子会社である株式会社リブテック（本社、神奈川県川崎市）は、同社保有のがん治療用抗体に関して、特許出願していた「ANTI-HDLK-1 ANTIBODY SHOWING AN ANTITUMOR ACTIVITY IN VIVO」について、韓国における特許付与の決定通知を受領いたしましたので、お知らせいたします。

本特許は、ヒト D1k-1 を標的とした抗ヒト D1k-1 モノクローナル抗体で、in vivo で抗腫瘍活性を有するマウスモノクローナル抗体及びキメラモノクローナル抗体に関するものです。これまですでに米国、欧州、日本、オーストラリア、中国で特許が成立しております。また、ヒト化抗ヒト D1k-1 モノクローナル抗体に関しましても、これまでに米国、欧州、日本で特許が成立しております。

なお、本特許に関する抗体は、すでのがん治療モデルにおいて顕著な抗がん活性を示すことが確認されており、国内外の製薬企業等に対して導出活動を行っているものであります。

【発明の名称】 ANTI-HDLK-1 ANTIBODY SHOWING AN ANTITUMOR ACTIVITY IN VIVO
【特許出願番号】 2009-7011429
【出願人】 株式会社リブテック

< 抗ヒト D1k-1 モノクローナル抗体について >

抗ヒト D1k-1 モノクローナル抗体は、肝臓がんを中心とする固形がんの細胞表面に発現している抗原（標的分子）「DLK-1 (Delta-like 1 homolog)」に結合し、がんの増殖活性を阻害するモノクローナル抗体です。DLK-1 は、幹細胞や前駆細胞といった未熟な細胞の増殖、分化を制御すると考えられており、リブテックの研究開発チームによるがん幹細胞研究の成果として、肝臓がんの細胞表面に発現し、その増殖に関与していることが発見された、新しいがん治療の標的になりうる可能性がある分子です。

本件が当社グループの平成 27 年 12 月期業績に与える影響は軽微であると考えております。

以 上